患者向医薬品ガイド

2023年2月更新

グルコリン配合静注

【この薬は？】

販売名	グルコリン配合静注 Gulucolin Injection
一般名	グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・L-システイン塩酸塩水和物 Monoammonium Glycyrrhizinate·Glycine·L-Cysteine Hydrochloride Hydrate
含有量 (1アンプル中)	グリチルリチン酸一アンモニウム 53mg (グリチルリチン酸として 40mg) L-システイン塩酸塩水和物 22.29mg (無水物として 20mg) グリシン 400mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」
https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、グリチルリチン酸製剤と呼ばれる注射薬です。
・この薬は、肝臓疾患用剤、アレルギー用薬と呼ばれるグループに属する注射薬です。
・この薬は、肝臓の炎症をしずめ、肝臓の働きを改善します。また、アレルギーをおさえる作用により、湿疹・皮膚炎などを改善します。
・次の目的で、自己注射のため処方されます。

慢性肝疾患における肝機能異常の改善

・この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減したりせず、医師の指示に従ってください。

・次の目的で、医療機関で使用されます。

小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚瘙痒症（ひふそうようしょう）**、口内炎、フリクテン、薬疹・中毒疹**

慢性肝疾患における肝機能異常の改善

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にグルコリン配合静注に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

・アルドステロン症の人、ミオパシーのある人、低カリウム血症の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

〔自己注射する場合（慢性肝疾患における肝機能異常の改善に使用する場合）〕

●使用量および回数

使用量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人は、１日１回、１回 40～60mL を使用します。

１日の最高使用量は、100mL です。

●どのように使用するか？

・この薬の注射方法は、医師の指示に従ってください。

・アンプルを包むフィルム包装は使用直前まで開封しないでください。

・包装内に水滴が認められるものや薬液に着色、混濁または結晶が認められるものは使用しないでください。

・アンプル頭部を持って、回転させて切り離してください。

・アンプル内に注射針を差し入れ、薬液を吸入します。注射器に薬液を吸入後、針を上方に向けて注射筒を軽く指ではじき、内筒を押して空気を出します。できるだけゆっくり静脈内に注射または、点滴注入します。

・他の薬と混ぜて使用しないでください。

・注射が終わった後、容器に残った薬液は使用しないでください。

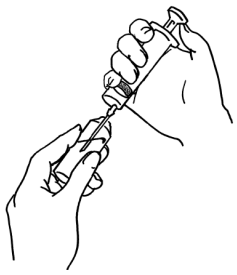
・使用済みの注射針、注射器、アンプルはあらかじめ用意した容器に入れて、子供の手の届かないところに保管してください。

《使い方》

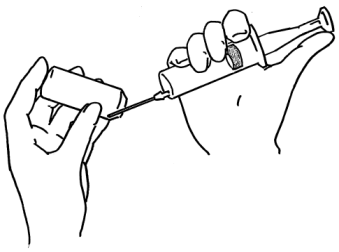
あらかじめ、以下の必要な器具等を用意します。
・グルコリン配合静注
・注射器　・注射針（翼状針等）　・消毒用アルコール綿　・駆血帯　・絆創膏等
石鹸を用いて手をよく洗い、清潔なタオル等で拭きます。

１． アンプルを包むフィルム包装は使用直前まで開封しないでください。アンプル頭部を持って、回転させて切り離してください。

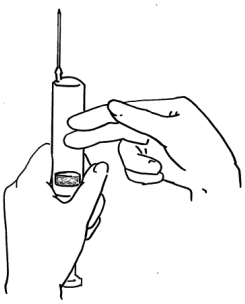
２． 注射器に注射針をしっかり装着し、アンプル内に注射針を差し入れ、内筒をゆっくり引いて気泡ができないように液を吸い込みます。
（注射針の誤刺等に注意しておこなってください。）



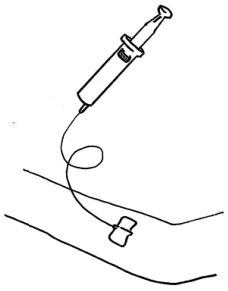
３． 液が少なくなったら、図のようにアンプルを斜めにして、気泡ができないようゆっくり液を吸い取ります。



４． 液を吸い終わったら、針を上方に向けて注射筒を指で軽くはじいて気泡をうえに集め、内筒を軽く押し、中の空気をだします。



５． 消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を２、３回拭き、出来るだけゆっくり静脈内に注射してください。



●使用し忘れた場合の対応

・決して２回分を１回で使用しないでください。
気がついた時に、１回分の注射をしてください。また１日１回を超えて注射を行わないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

〔医療機関で使用される場合〕

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用後は安静にしてください。
・偽アルドステロン症があらわれやすくなるので、甘草を含む薬との併用は注意してください。
・自分自身で注射を続けられないと感じた場合は、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳をしている人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシーショック アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
アナフィラキシー様症状 アナフィラキシーようしょうじょう	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
偽アルドステロン症 ぎアルドステロンしょう	手足のだるさ、しびれ、こわばり、力が抜ける感じ、手足がつる、顔や手足がむくむ、頭痛、喉が渇く、食欲不振、吐き気、嘔吐、意識の低下、動けなくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、力が抜ける感じ、顔や手足がむくむ、ふらつき、動けなくなる
頭部	頭痛、意識の低下、めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白（そうはく）
口や喉	喉が渇く、吐き気、嘔吐、喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足がつる、手足が冷たくなる、手足のだるさ、しびれ、こわばり、
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

性状	無色澄明の水性注射液
形状	スノープル（プラスチックアンプル） 20mL　スノープル ブリスター包装
液量	1アンプル中 20mL

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	グリチルリチン酸一アンモニウム、L-システイン塩酸塩水和物、グリシン
添加物	ピロ亜硫酸ナトリウム、クエン酸水和物、水酸化ナトリウム、塩化ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・容器から取り出した液は、速やかに使用してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

・使用済みの注射器と注射針を再使用しないでください。
・使用済みの注射器・注射針・アンプルについては、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：扶桑薬品工業株式会社
(https://www.fuso-pharm.co.jp/)
研究開発センター　学術室
電話：06-6964-2763
受付時間：9:00～17:30（土日祝日を除く）